

2019年  
CTG

建交労道本部夏季闘争速報

No. 9 / 2019年8月6日

〒060-0909 札幌市東区北9条  
東1丁目北海道労働センター2F  
TEL. 011(711)7377  
FAX. 011(711)7388  
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

## 道労連第 32 回定期大会

# 暮らしがあるから、人なんだ。

### 職場に元気、地域に活気。憲法を守り、いかす社会へ

道労連は8月3～4日に第32回定期大会を開催し、結成30周年を迎え、「組織拡大・強化中期計画」の最終年度となる今年から来年にむけたとりくみによって来年の大会を組織の純増で迎えることを決意しました。大会には道労連役員、各単産・地域組織の代議員66人をはじめ100人が参加し、提案された諸議案を満場一致で可決しました。

大会の冒頭、三上友衛議長は「道労連は今年で結成30年を迎える。知事選挙では市民と野党の共闘が前進し、次のステージに発展してきた。4年後にむけて道政の転換をめざしてさらにとりくみを強めよう。この1年間、組織の変革、組織拡大のとりくみを前進させてきた。職場や組織をさまざまな角度から見直す視点を持ち、『あたりまえからの脱却』で職場に民主主義を取り戻すたたかいを強めよう」とあいさつしました。

## 中期計画の最終年度～来年の大会を増勢で

出口憲次事務局長が提案した運動方針案について、組織拡大・組織強化・組織変革のとりくみを中心に28人が発言し、2日間にわたり活発な討論がおこなわれました。出口事務局長は総括答弁で「非正規差別をなくし、同一労働同一賃金を求めるたたかいは来年4月にむけて重要だ。最賃闘争では全国一律をめざしてたたかいを強めなければならない。中期計画の最終年度となる。組織拡大目標をやりあげて来年の大会を増勢で迎えよう」と強調しました。

## 森国副議長、出口事務局長、竹田事務局次長が再選

大会では新年度役員選挙がおこなわれ、三上議長をはじめ、建交労からは森国副議長、出口事務局長、竹田事務局次長が再選されました。

## 最賃 1,500 円・全国一律を求めアクション 中賃目安は北海道 +26円→861円

中央最低賃金審議会（中賃）は7月31日に、今年の最低賃金引き上げについて「目安」を決めました。全国平均は+27円・時間額901円で、最も高い東京（1,013円）と地方（Dランク）の格差はさらに広がり最大226円となります。この「目安」どおりなら、北海道は+26円・861円です。

道労連は、連日30℃を越す猛暑の中で、7月31日夜に札幌・大通公園を巡る「上げろ！最賃ビアガーデンデモ」をおこないました。「最賃上がればビールもうまい」などのコールに、ビアガーデンに訪れた市民・観光客やそこで働く従業員等が手を振り、声をあげてくれる場面もありました。

北海道の最賃審議会が開かれた8月1日には、第一合同庁舎前で「最賃1,500円」「全国一律に」と、道労連の三上議長をはじめ福祉、医療の現場や青年などからアピールしました。